

雨のせいで土はぐちょぐちょだし、テントは濡れるし、すごく大変でした。あと、土がすごく臭かったです。

最後のバスでは近くの人々のバックに4日間くらい前の卵が入っていて、とても臭かったです。最後の方はとにかく臭かったです。バスから降りると、これで終わりなんだなと寂しくなりました。

ジャンボリーはつらいこととかあったけれど、友達ができたり、プログラムがあったり、楽しいこともたくさんありました。また、愛知11隊のメンバーでキャンプに行きたいなと思いました。ジャンボリーに行ってよかったです。



「初めての16N」に参加して」

ボーイ隊 小川 優理

この大会が、私にとって初めてのジャンボリーでした。春日井から出発する前からとても楽しみでした。

出発式では、ジャンボリーに行かせてくれた親に挨拶をして出発しました。バスに何時間も揺られ、やっとジャンボリーの開かれる山口県きらら浜に到着しました。その場に着いた時に、これからジャンボリー生活が始まると思うと一層どきどきとわくわくが強まりました。

開会式では、このジャンボリーに参加する人が日本各地・世界からもたくさん集まっていて、これから待ちに待ったジャンボリーが始まるんだということを実感しました。日本の中でも最も多く参加していると感じた県は、愛知と大阪でした。県連盟が紹介されている時にその県の人々が歓声を上げていて、そこで一番熱気を感じました。

大会期間中に行った隊交流では、北海道・京都・愛媛の一部の隊と交流をしました。その場では、愛知の名物の味噌煮込みうどんとスガキヤのラーメンを振る舞い、各自で物々交換をしたり名刺交換をしたりして、友情の輪を広げ、より日を追うことに関わりや輪を深めてゆこうと思いました。私は名刺を交換して、今ではその場で知り合った何人かと友達になりました。ジャンボリーで友達を作ることなどが一番の目的だと思うので、友達になった時は友達が出来てよかったですと思いました。

大会期間半ばには大集会が行われ、私たちの隊は途中からしか行くことができませんでした。その理由は大集会が行われる直前に大雨が降ったからです。その雨によって水がテントに浸水し、骨組みは折れ、そ





して飛ばされ、散々な事になり、何とかみんなで協力して水をかき出せました。このような暴風雨は普段のキャンプでは滅多に経験してなく、雷もすごくて一時はどうなることかと思いました。バケツリレーをしてみんなで協力し合うことはとても良いことだと思ひ、このジャンボリーの思い出になると思うので逆に良かったと思いました。この協力し合う精神は日々のスカウト活動でも必要なことなのでこれからもずっと継続していきたいと思いました。丁度着いたときに宇宙飛行士の野口聡一さんが登場し、大きな歓声が上がっていました。

閉会式では、副長に棒型のライトを買ってきてもらいました。副長曰く自費だそうで、嘆いていました。私はそれを見て、とても心の優しい副長だと思いました。ライブでは、「なついろ」という関西で活動しているグループが歌っているときにライトを振りまくり、とても盛り上がりました。閉会式のフィナーレの花火では何発も打ち上げられ、きれいでした。撤営をし、その日の夜はテント無しの野宿でした。普段はテントで寝ているのが外になったの

で、ものすごく蚊に刺されるのかと思っていたけれどそれほど刺されることもなく、テントと同様快適に過ごせました。そこの環境のせいなのか、疑問になりました。

そしてバスに乗り込み、大会の行われた山口県きらら浜を離れ、再び揺られて何事もなく帰る予定だったのが、途中である人が5日ほど前に配給されたゆで卵をずっとかばんの中に入れていたため異様に臭い、サービスエリアで捨てました。バスの中でみんなは徐々に臭いを感じてきて、やっとその発生源をつきとめました。それがこのジャンボリーで一番の印象に残ったことだったと思います。

春日井に到着し、そこで解隊式を行い、隊長・副長と言葉を交わしました。そして隊長が全体に向かって言われた言葉がとても心に残り感動しました。その言葉は、

「それぞれの原隊へ戻り、活動せよ。」

というような言葉でした。私はそれを聞いて、日々がんばろうと思いました。

私はこれが初めてのジャンボリー。大会のテーマの「和」を尊重、大切に、友情の輪を広げ、深め合えました。また、これは一生に残る思い出だと思います。ボーイスカウトでこの大会へ向け、楽しめたのは、親や指導者、ISTの方々のおかげなので、とても感謝しています。

「16NJに参加して」

ベンチャー隊 原 積生人

16NJは自分にとって初めてのジャンボリーとなりました。昨年開催されたITCとは規模が違い、とても多くのスカウトと交流する事ができとても楽しかったです。

前半は熱中症患者が出るほどの猛暑日が続きとても良い天気でした。しかし、8/4のアーリーナショーに出発するための準備をしていた時に、強い風と雨に襲われスカウトはベタベタになりながら一時避難しました。幸いけが人はいなかったのですが、強風でテントが壊れ荷物が浸水したスカウトもいました。

そして、再来年に開催される世界ジャンボリーにも参加する予定です。世界ジャンボリーでも、参加隊での参加になるので、16NJの経験を生かして、役にたてれば良いなと思います。



RS復興支援プロジェクト

今回のジャンボリーの直前に、山口県と鳥根県を襲った豪雨があり、大きな被害が出ました。そんな中でジャンボリーが開催され、お世話になっている山口県に恩返しをしたいと、ジャンボリーに奉仕中の全国ローバース会議が有志を募って8月5日と6日に被災地の生活復旧支援に行きました。

ジャンボリー会場では参加スカウトに楽しいジャンボリーの思い出を残すために、被災地では被災者の皆さんに普段の生活を取り戻すために頑張ってくれました。ローバースの皆さんのこういった裏方に徹した頼もしい活躍に感謝!



最後に

2015年には、今回と同じ山口県きらら浜に於いて第23回世界スカウトジャンボリー(23WSJ)が開催されます。日本での開催は実に44年ぶりのことです。今回の約2倍の3万人が参加する予定となっています。

瀬戸6の中だけで活動をしては井の中の蛙です。他団のスカウト、外国のスカウトとの交流を通して色々なことを学び視野を広めて欲しいと思います。一人でも多くの瀬戸6スカウトが23WSJに参加して一回りも二回りも大きくなってくれることを楽しみにしています。

そして保護者の皆様も23WSJに指導者やIST(国際サービスチーム員)として参加することは可能です。日本で開催される滅多にないチャンスです。是非とも参加希望をして下さい。

